

# 令和2年度一般会計決算の概要(ポイント)

## 決算の全体像

◇ 歳入	② 6,269億円	←	㊦ 5,165億円	(+ 1,104億円)
◇ 歳出	② 6,213億円	←	㊦ 5,114億円	(+ 1,099億円)
◇ 実質収支	② 13億円	←	㊦ 15億円	(△ 2億円)

## 歳入の状況

◇ 主要な一般財源	② 3,734億円	←	㊦ 3,629億円	(+ 105億円)
・ 地方消費税清算金			+ 93億円	
・ 地方交付税			+ 28億円	
・ 臨時財政対策債			△ 19億円	
◇ その他の歳入	② 2,534億円	←	㊦ 1,535億円	(+ 999億円)
・ 国庫支出金			+ 692億円	
・ 諸収入			+ 267億円	
・ 臨時財政対策債を除く県債			+ 115億円	
・ 繰入金			△ 93億円	

## 歳出の状況

◇ 義務的経費	② 2,567億円	←	㊦ 2,503億円	(+ 64億円)
・ 公債費			+ 67億円	
・ 人件費			△ 4億円	
◇ 投資的経費	② 910億円	←	㊦ 866億円	(+ 44億円)
・ 普通建設事業費			+ 57億円	
・ 災害復旧事業費			△ 13億円	
◇ 一般施策経費	② 2,736億円	←	㊦ 1,745億円	(+ 991億円)
・ 補助費等			+ 635億円	
・ 積立金			+ 314億円	
・ 物件費			+ 28億円	

※②：令和2年度、㊦：令和元年度、㊧：平成26年度、㊨：平成23年度

## 県債等の状況

◇ 県債残高総額は、ピーク時から約900億円減少し、1兆円を下回る水準

・ ②末 9,793億円 ← ②⑥末 10,700億円 (△907億円)

◇ 交付税措置のない県債残高は、②③末から約800億円減少

・ ②末 3,577億円 ← ②③末 4,384億円 (△807億円)

◇ 交付税措置のない県債残高の県税収入額に対する割合は、大きく改善

・ ②末 3.0倍 ← ②③末 4.3倍

## 財政状況の指標（速報値）

※今後の精査により、数値に異動が生じることがあります。

◇ 本県の指標はいずれも基準をクリア

〈資金繰りの状況を表す指標〉

指標の種類	R2	R元	基準
公営企業等を除く会計の赤字の比率(実質赤字比率)	「－」 (△0.46%)	「－」 (△0.52%)	<3.75%>
全ての会計の赤字の比率(連結実質赤字比率)	「－」 (△10.46%)	「－」 (△9.20%)	<8.75%>
公債費の比重を示す比率(実質公債費比率)	8.5%	8.7%	<25%>

〈負債の状況を表す指標〉

指標の種類	R2	R元	基準
県債残高だけでなく公営企業会計や公社・3セクの負担も含めた、一般会計が将来負担すべき負債の比率(将来負担比率)	137.4%	156.0%	<400%>

※表中、基準欄の数値は、法律により財政健全化計画等の策定が義務付けられる基準